【議事録】第 263 回大阪海区漁業調整委員会

1. 開催日時	令和6年(2024年)12月11日(水曜日) 午後3時から午後3時55分まで
2. 場 所	大阪府咲洲庁舎23階 海区委員会室
3. 出席委員	今井 一郎、岡 修、奥 浩幸、津本 芳孝、常松 睦弘、 田中 映治、樋口 正明、合田 進、多田 稔、 鍋島 靖信(専門委員)
4. 府関係者	朝倉 一郎、山脇 敏広、福原 敬介、福元 耕平、 井上 実、山本 圭吾(水産技術センター)
5. 事務局	大道 斉、久保 佳洋、池田 栄太郎
6. 議事事項	(1) 漁業許可の公示 (2) 資源管理方針の変更 (3) まあじ、まいわし太平洋系群、かたくちいわし瀬戸内海系群 に関する令和7管理年度における知事管理漁獲可能量の設 定 (4) その他 1. 大阪府漁業調整規則の一部改正(素案) 2. 刺網漁業等に係る委員会指示の検討他
7. 議事概要 事務局 (大道書記長)	第263回大阪海区漁業調整委員会の開催をお願いしたいと思いま す。 本日は、村上委員が欠席で、委員9名に出席いただいております ので、漁業法第145条に基づき、本日の委員会が有効に成立してい ることをご報告いたします。 本日もご審議いただきます議題は、 ・「漁業許可の公示」 ・「資源管理方針の変更」 ・「まあじ、まいわし太平洋系群、かたくちいわし瀬戸内海系群に関 する令和7管理年度における知事管理漁獲可能量の設定」 の3件でございます。 それでは、今井会長、議事の進行、よろしく申し上げます。

<p>今井会長</p>	<p>只今から、第 263 回大阪海区漁業調整委員会を開催いたします。</p> <p>はじめに、議事に入る前に、議事録署名人を、大阪海区漁業調整委員会規程第 9 条第 2 項の規定に基づき私から指名させていただきます。</p> <p>議事録署名人につきましては、津本（つもと）委員と田中（たなか）委員にお願いします。</p> <p>それでは、議事に入ります。</p> <p>議題 1、「漁業許可の公示」について、水産課から説明をお願いします。</p>
<p>水産課 (井上総括主査)</p>	<p>(「漁業許可の公示」について説明)</p> <p>漁業許可の公示に関して、ご説明させていただきます。</p> <p>大阪府漁業調整規則をお開きください。第 11 条が根拠条文となります。本条第 1 項では、知事は、漁業の新規許可をしようとするときは、同条第 1 項各号に掲げる事項に関する制限措置を定め、その内容及び申請すべき期間を公示しなければならないと定められております。次ページにあります、同条第 3 項により、制限措置の内容及び申請すべき期間を定めようとするときは、海区漁業調整委員会の意見を聴かななければならないと定められており、以上が今回の諮問の根拠となります。</p> <p>それでは、参考資料 1-1 をご確認ください。この諮問文のとおり、前回の 10 月 8 日の第 262 回の委員会以降の新規要望について、諮問させていただきます。海区委員会資料 1 をご覧ください。表にあります通り、ひきなわ漁業で 5 件、潜水器漁業で 1 件、小型定置漁業で 1 件の新規許可の要望が出ております。漁協からの新規要望の内訳については、参考資料 1-2 に掲載しております。ひきなわ漁業については高石市漁協及び田尻漁協から、潜水器漁業と小型定置漁業は下荘漁協から要望が出てきています。</p> <p>申請すべき期間については、許認可方針通り 2 カ月間としております。説明については以上です。</p>
<p>今井会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>ただ今の水産課の説明について、何かご意見・ご質問はございま</p>

	<p>すでしょうか。</p>
奥委員	<p>潜水器漁業が1件出てますが、免許に操業可能域の地図を付けられないですか。漁業権のないヨットハーバーで潜っていたりして、海上保安庁が注視しています。自分の漁協の地先海域といってもわかりにくいので、水産課から言ってやってほしい。泉佐野から南はすべて潜水器漁業があるが、淡輪、下荘など、海上保安庁が注視しているようです。</p>
水産課 (久保補佐)	<p>免許更新ごとに、各組合に共同漁業権区域でやってもらうように言い、水産課から漁業権海域図を配布しているので、それで確認いただきたいと思います。淡輪ヨットハーバー付近については、その境界について漁協に誤解があり、そこで潜っていたので指摘されたようです。入会域があったり、小さな部分で認識がずれていて、正確に知らずに潜ったのではないですか。漁協や海保から水産課に連絡があったので、領域については確認して潜っていただきたい。</p>
岡委員	<p>新規に免許が出るときに、資料をつけたら間違いないのでは。</p>
奥委員	<p>自分の漁協のことは自分たちで解決できるが、他の漁協から指摘や質問があったら、水産課が説明してください。海保は特に厳しく、1回目は警告、2回目は検挙するというので、免許の時に資料をつけてもらえるといいのだが。</p>
今井会長	<p>新規免許に資料をつければいいのか。</p>
久保補佐	<p>組合長会議でも説明しましたが、新規で許可を出すときには、海域や先輩がつくったルールとかを教えてやるべきではないかと思います。水産課としては漁協職員の研修を年に1回しているが、今後、新規だけでなく過去からされているベテランにも改めて説明の機会を年に1回くらい作れたらと思います。</p>
今井会長	<p>ほかにご意見ありますか。</p>

各委員	なし
今井会長	特にご質問等が無いようですので、本議題については、水産課の案のとおり承認することとしてよろしいでしょうか。
各委員	異議なし
今井会長	ありがとうございます。 それでは、水産課の案のとおり承認することとします。 事務局から答申案をお願いします。
事務局 (大道書記長)	(答申案読み上げ)
今井会長	ただ今の答申案について、何かございませんでしょうか。
各委員	異議なし
今井会長	ご異議がないようですので、事務局で答申の手続きをお願いします。 それでは、次の議題に入ります。 議題2、「資源管理方針の変更」及び議題3「まあじ、まいわし太平洋系群、かたくちいわし瀬戸内海系群に関する令和7管理年度における知事管理漁獲可能量の設定」は関連しますので、続けて水産課から説明をお願いします。
水産課 (福元副主査)	(「資源管理方針の変更」及び「まあじ、まいわし太平洋系群、かたくちいわし瀬戸内海系群に関する令和7管理年度における知事管理漁獲可能量の設定」について報告) (2) 資源管理方針の変更について 水産課 企画・豊かな海づくり推進グループの福元と申します。 議題2及び議題3について、関連する議題になりますので、まとめて説明をさせていただきます。宜しくお願いいたします。

福元副主査

お手元の参考資料の2（諮問文）をご覧ください。漁業法第14条第9項の規定に基づき、大阪府資源管理方針を変更したいので、同法第14条第4項の規定に基づき諮問いたします。

続いて海区委員会資料2-1をご覧ください。資源管理方針の変更にかかる新旧対照表になります。改正前が右側、改正後が左側に記載しております。

漁獲可能量について、現在、大阪府では特定水産資源として「まさば及びごまさば」、「まあじ」、「まいわし」、「くろまぐろ」の4魚種に、TAC（漁獲可能量）が設定され、大阪府資源管理方針に詳細が記載されております。

今回の改正の趣旨は、2024年1月からは、「かたくちいわし」が特定水産資源に追加されたことから、大阪府資源管理方針にも対象魚種を追加する変更を行っております。

併せて、資源管理方針内に記載されている「漁獲可能量による管理以外の手法による資源管理に関する事項」の部分について、これまでは漁船の隻数の上限を具体的な数値で記載しておりましたが、

「大阪府漁業調整規則に係る許認可方針」を引用する形に修正し、事務の効率化を図るものであります。

なお、お配りしている資料2-2は、改正後の資源管理方針を清書したものですので参考までにお配りしております。

議題2の資源管理方針の変更については以上です。

議題（3）まあじ、まいわし太平洋系群に関する令和7管理年度における知事管理漁獲可能量の設定について

続きまして、議題（3）について説明いたします。参考資料3-1の諮問文をご覧ください。漁業法第16条第1項の規定に基づき、まあじ、まいわし太平洋系群、かたくちいわし瀬戸内海系群に関する令和7管理年度における知事管理漁獲可能量の設定について定めたいので、同法第16条第2項の規定に基づき諮問いたします。

「まあじ」と、「まいわし太平洋系群」、「かたくちいわし瀬戸内海系群」の令和7管理年度は、令和7年1月1日から12月31日までの1年間となっています。都道府県は、国から配分された漁獲可能量をもとに、先ほどご説明した都道府県ごとの資源管理方針に基づ

福元副主査

く、知事管理区分に配分する漁獲可能量を定めようとするときは、関係海区漁業調整委員会の意見を聴かなければならないとされ、お諮りするものです。

今回、国の水産政策審議会資源管理分科会が行われ、「まあじ」、「まいわし太平洋系群」、「かたくちいわし瀬戸内海系群」の令和7管理年度のTACの設定及び配分が審議・承認されました。次に、参考資料3-2「令和7管理年度まあじ漁獲可能量（TAC）の設定及び配分について」をご覧ください。

先月11月1日に開催された国の水産政策審議会 資源管理分科会で配付され、承認された資料です。

「まあじ」の令和7管理年度のTACは日本全体で14万5,000トンとなっており、この資料一番下に記載のとおり、このうち20%に当たる2万9000トンが国の留保です。留保を差し引いた残りについて、過去3か年の漁獲実績の比率に基づき、大臣管理分と知事管理分に配分されます。知事管理分は、漁獲量の概ね80%を占める島根、山口、長崎、宮崎、鹿児島5県には具体的な数量で配分され厳格に管理されますが、それ以外の道府県は、数量を明示せず「現行水準」とされており、大阪府は現行水準の配分とされております。

次に、参考資料3-3「令和7管理年度まいわし太平洋系群漁獲可能量（TAC）の設定及び配分について」をご覧ください。

こちら、先月11月1日に開催されました、国の水産政策審議会 資源管理分科会で配付され、承認された資料です。

「まいわし太平洋系群」の令和7管理年度のTACは日本全体で66万3,000トンとなっており、この資料一番下に記載のとおり、このうち20%に当たる13万2,600トンが国の留保です。留保を差し引いた残りについて、過去3か年の漁獲実績の比率に基づき、大臣管理分と知事管理分に配分されます。

知事管理分は、漁獲量の概ね80%を占める北海道、岩手、宮城、三重、宮崎の5県には具体的な数量で配分され厳格に管理されますが、それ以外の道府県は、数量を明示せず「現行水準」とされており、大阪府は現行水準の配分とされております。

次に、参考資料3-4「令和7管理年度かたくちいわし瀬戸内海系群漁獲可能量（TAC）の設定及び配分について」と右上に参考資料

福元副主査

とだけ書かれている「TAC 管理導入当初の柔軟な運用」を併せてご覧ください。参考資料3-4も先月11月1日に開催された国の水産政策審議会 資源管理分科会で配付され、承認された資料です。

「かたくちいわし瀬戸内海系群」の令和7管理年度のTACは、資料に記載の11府県で4万8,000トンとなっております。「TAC 管理導入当初の柔軟な運用」に記載されておりますが、TAC 管理導入は概ね3年を目安に段階的な導入を行っていきます。ステップ1で、TACによる漁獲量の報告を義務化し、状況の確認を行います。そして、翌年以降にステップ1の結果を踏まえ、ステップ2・3で都道府県への配分量を検討、設定していく流れになります。

かたくちいわしについてはTAC 導入の初年度ということで、具体的な数量の配分を行わず、「48,000トンの内数」として、全体でこの数値内に収まるようにTAC 管理を行ってまいります。そのため、大阪府の知事管理漁獲可能量も同様に設定いたします。

次に、参考資料3-5をご覧ください。

先程説明しました国の水産政策審議会資源管理分科会で承認されたTACの設定及び配分を受け、令和6年11月7日付けで農林水産大臣から大阪府知事あてに、まあじ、まいわし太平洋系群、かたくちいわし瀬戸内海系群について、令和7管理年度における都道府県別の漁獲可能量の当初配分の通知があり、下の表に記載のとおり、大阪府のまあじ、まいわし太平洋系群の漁獲可能量は、令和6管理年度に引き続いて、「現行水準」での配分となっております。

「現行水準」といいますのは、大阪での漁獲量は全国の漁獲量からみると少ない方に位置しているため、数量を明示した厳格な管理ではなく、現行の水準を超えないように、基本は今までどおりの管理を続けていただく、ということです。

また、かたくちいわし瀬戸内海系群の漁獲可能量は、「48000トンの内数」と設定されております。

次に、海区委員会資料3、今回の案をご覧ください。

まあじ、まいわし太平洋系群に関する令和7管理年度（令和7年1月1日から12月31日までの期間）における知事管理漁獲可能量につきまして、1の「大阪府に配分された漁獲可能量」は、先ほど申し上げましたとおり、国からの配分は、「現行水準」でしたので、2

福元副主査	<p>の「知事管理漁獲可能量」は、大阪府まあじ漁業及び大阪府まいわし漁業に対して「現行水準」と設定したいと考えております。</p> <p>かたくちいわし瀬戸内海系群に関する令和7管理年度（令和7年1月1日から12月31日までの期間）における知事管理漁獲可能量につきまして、1の「大阪府に配分された漁獲可能量」は、先ほど申しあげましたとおり国からの配分は、「48000トンの内数」でしたので、2の「知事管理漁獲可能量」は、大阪府かたくちいわし漁業に対して「48000トンの内数」と設定したいと考えております。</p> <p>以上で、議題についての説明を終わらせていただきます。</p> <p>ご審議のほどよろしくお願いいたします。</p>
今井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ただ今の水産課の説明について、何かご意見・ご質問はございますでしょうか。</p>
田中委員	<p>48000トンは瀬戸内全部の話です。この数字が6月まで変わることは基本的にはないと考えています。</p> <p>ステップ1やから、従来通りやってくれたらいいという事です。漁船が19tクラスで多いときには300t/日ぐらい獲り、大阪で5000t以上は獲っていると思う。</p> <p>特段の制約等はなく、今まで通り獲って、報告はしっかりとしてほしい。</p>
福原総括主査	<p>大阪府の場合は、報告していただいておりますので、大阪府に関しては今まで通りやっていただいて結構です。</p>
田中委員	<p>他府県がちょっと曖昧で、48000トンは結局、伊吹漁協の方は製品の重さで、漁獲は十分把握できてない部分ある。結局正確な数字が出されへん状態で、山口とかでも、そんな数字を出すのかいうのがまだいっぱいいるので、集計ができませんから、まずはステップ1に入って集計をし、各府県は半分揉めてる状態でも、ある程度数字を出してるそうです。大阪は電子申告にほとんどなっているけど、県は聞き取りをして、数字は曖昧になる。</p>

田中委員	<p>今度からちゃんと数字を出さなかったら、割当枠が当たらんという形だ。金額面しかわからんので、情報が取れる状態にしたいっていう考えですね。</p> <p>規制をかけるのに、数字をちゃんと出してくれというので、1年間様子見たい感じですね。3年を目安にして、反対もおったのでなかなかうまいことはいかない。</p>
今井会長	<p>ご質問等はありませんか。</p> <p>無いようですので、議題2及び議題3については、水産課の案のとおり承認することとしてよろしいでしょうか。</p>
各委員	異議なし
今井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、水産課の案のとおり承認することとします。</p> <p>事務局から答申案をお願いします。</p>
事務局 (大道書記長)	<p>まず、資源管理方針の変更に係る答申を読み上げます。</p> <p>(答申案読み上げ)</p> <p>次に、まあじ、まいわし太平洋系群、かたくちいわし瀬戸内海系群に関する令和7管理年度における知事管理漁獲可能量の設定に係る答申を読み上げます。</p> <p>(答申案読み上げ)</p>
今井会長	ただ今の答申案について、何かございませんでしょうか。
各委員	異議なし
今井会長	ご異議がないようですので、事務局で答申の手続きをお願いします。

<p>今井会長</p>	<p>それでは、次の議題に入ります。 その他として2件あります。 まず1つ目が「大阪府漁業調整規則の一部改正（素案）」について、水産課から説明をお願いします。</p>
<p>水産課 (池田副主査)</p>	<p>「大阪府漁業調整規則の一部改正（素案）」について説明 大阪府漁業調整規則の一部改正について、9月の委員会で説明させていただいたんですが、その件でスケジュール変更がありましたので、報告いたします。 お手元の資料4－1の裏面です。こちらに、スケジュールを記載させていただいております。当初はパブリックコメントをする予定でしたが、水産庁との調整が長続きしてしまい、12月中旬のこの海区委員会の後にパブリックコメントをさせていただこうと思っております。そして案を2月の海区委員会で諮問させていただく予定です。ちなみに内容自体に変更はありません。9月からの変更点を水産庁と協議を行いまして、庁内での手続きを済ませれば来年4月以降に施行する予定でございます。以上簡単ですが、説明を終了させていただきます。</p>
<p>今井会長</p>	<p>ありがとうございます。 ただ今の説明について、何かご意見、ご質問等はございませんか。</p>
<p>各委員</p>	<p>意見なし</p>
<p>今井会長</p>	<p>特にご質問等がないようですので、水産課の方で改正の手続きをお願いします。 続いて、2つ目、「刺網漁業等に係る委員会指示の検討他）」について、水産課から説明をお願いします。</p>
<p>水産課 (久保補佐)</p>	<p>(「刺網漁業等に係る委員会指示の検討他）」について説明) 海区委員会資料4－2というものをご覧いただきたいと思えます。 これまでも委員会で申し上げておりました通り、北部海域で事故</p>

久保補佐

等が続いているということで、解決策としてそろそろ具体的に委員会の方で指示という形で、ルールを決めて規制をかけないと、事故が収まらないということ、説明させていただいておりました。具体的に委員会指示を検討いただくにあたり、今回は案をお示しさせていただいて、今後何度かご審議いただいた後、具体的に委員会指示をしていただくか、もしくはもう少し指示の前に会議で水産課の方から説明させていただくことで解決に繋がるのではないかとのご意見もございます。

あわせて委員会資料4-3で説明させていただきますが、最近の大阪湾の資源が減っている中で、トラブル等も増えてきているということ、いろいろなルールが古くなってきており、資源管理部会に出た際にいただいた意見について、審議いただきたいと考えております。

先ほど言いました資料4-2の中で、魚籠の方で委員会指示を毎年出させていただいておりますが、それをたたき台としてご検討いただくために、こういうことを指示として出さないというところで、作らせていただいたものです。

1. 北部でトラブルが多いのは、刺し網と、ツバス・スズキ流し網で、これの許可数が多いのではないかとこのところ、知事許可の種類として刺し網等の漁業に関わる業務および操業場所の制限というのが、必要になるのではないかとこのところ、

2. 漁具の制限等で、刺し網とツバス・スズキ流し網の制限ですが、刺し網については制限が実際ありません。その中でトラブルが多いので、今アンケートを取りまとめ中ですが、一反というのが400mから600mという人が多いので、最大長は平均500mぐらい。ただ、600mの網を持っている人もいますので、最終的に600mとなるかもしれませんが、これ以上長くならないように制限を設けることが必要ではないかというのが一点と、刺し網ですので、流れては困るので、きちんと固定するというような文言をはっきり漁具の制限として書き入れるべきではないかと考えております。

これが刺し網の漁具制限というところ、

次ですけどもツバス・スズキ流し網については長さが決まっています。ただ、よくないことにサゴシ狙いで、網を流して獲るとい

久保補佐

ことを聞いたりするので、基本的にサワラを獲るさわら流し網は沖合で流すので、大型船とのトラブルを避けるため、網の一番上が水面から5m空けるとというのが、サワラ流し網では決まっております。ツバス・スズキ流し網でも、サワラ流し網より岸寄りに入れることもあり、大型船より海上保安庁から指摘のあるのは、小型船舶とのトラブルがあっては困るというのもあり、水面から一定の距離を空けるべきで、浮かすのはよろしくないというところです。サワラ流し網では5mというふうに書いております。ツバス・スズキ流し網についても、例えば2mとか3m程度は水面から上を空けるといようなルールを設けるべきではないかと思えます。

3. 操業の場所の制限ですが、刺し網等も基本的に共同漁業権がある組合さんに関してはその範囲で、共同漁業権がない北部では、もともと共同漁業権があった地先を基本にしていただき、隣接組合さんときちんと協議を進めていただき、合意をしていただいた上で網を入れていただきたい、となっております。その辺が最近おろそかになっておりますので、隣接組合にきちんと誰がどの辺りに網を入れているのかわかるような協議をしておいていただきたい。

このような形の提言が必要になるではないかと、参考資料4というのもお配りしています。参考資料4は、この6月に府漁連さんの組合長会議の方で配らせていただいた資料で、海上保安庁さんから特に事故が多い海域というふうに御指摘を受けたところです。

裏面に海域の図があり、泉大津の沖を中心に太線で囲ったところがあり、海上保安庁が特に船舶とのトラブルが多いと、指摘される場所です。具体的にこれと一致する海域を指定するかどうかは別として、これに近い海域ではトラブルを回避するように、一般船舶の航行に支障にならないところに網を入れてください。というような文言を指示として明言すべきではないかと考えております。

具体的に言いますと、航路の出口に網を仕掛ける方がいると、その航路を通ってきた船は網をひっかけるしかないという状況が続いていると聞いていますので、それは避けていただきたい。一般船舶の航行に支障にならないように配慮してくださいと、厳しくは言いにくいですが、こういう表現は指示の中で、具体的にすべきではないかと考えています。

久保補佐

今後、このたたき案に基づいて、指示という形を具体にするのかどうかも含めて、次回以降の委員会でまた議論をお願いしたいと考えております。まず一つ目の予告というところです。

あわせて、次の委員会資料4-3ですが、ほかの資源管理部会の方から出てきております要望と、意見というような情報提供です。今後、委員会の方でご審議いただかねばならないので、あらかじめお知らせしておくという意味で作らせていただきました。さし網漁業についてですが、これは時間が決まっており、刺し網を入れる時間は通年午後3時から翌日8時というふうになっております。ただ8時となると、冬場でしたら暗い間に船を出し、網のところへ行って作業しないと上げきれず、間に合わなくなるというような御指摘があり、刺し網部会から他の資源管理部会に、意見という形で求められ、ご承認された案として、12月1日から翌年の3月31日、冬季の間は、1時間余裕を見てほしいということで、入れる時間は3時と変わりませんが、翌日の午前9時までとの要望がございます。これについては各部会でご承認を受けたということをお伺いしております。いずれ、正式に刺し網部会の方から変更のご審議いただく材料が上がってくると考えています。

あわせて、さし網漁業でルールを守っていただけていない部分があるということの一つに、受け（浮標）に、許可条件としてプラスチック製の名札を付ける決まりがあり、この名札もプラスチック製で縦10センチ横15センチ、厚さ1ミリと決まっています。当初は皆さんつけていただいていたんですが、痛んで落ちたということで、最近つけてない方が目立つという状況になっています。プラスチックプレートが海に何らかの形で流れますと、マイクロプラスチック問題とか、ゴミ問題になりますので、プラスチック製名札というのはどうかというご意見がございました。その中で、水産課でも検討させていただきたいのは、必要な事項をわかるように明記するのであれば、プラスチック名札にこだわらないというような形で、今後議論したいと考えております。

具体には、例えばブイにはっきりマジックなんかで書いていただ

<p>久保補佐</p>	<p>くとか、誰の網でどこの所属で、さし網が入っているのか、例えば籠網が入っているのかと、わかるようにしていただければ、名札である必要はないと考えてございます。</p> <p>一番下ですけども、船曳網の方からの意見として、現在船曳網については、右側の船に表旗を上げ、これは許可番号を明記した旗をあげていただいております。これまで毎年許可を更新し、毎年許可番号がそれぞれの船で変わっていたが、許可が3年ごとの更新になって、同じ旗を3年使えるが、旗がすぐ傷んでしまうということもあります。部会の会員は現在 67 統、これがもう上限であるというところもあり、許可番号を固定してはどうかというご意見があります。許可番号が固定されるのであれば、旗でその番号を示すのではなくて、その番号を底曳網同様、船体に番号を書くことで許可のありなしを、明記することの方が、取り締まる側としても、船引き網漁業者の方にとってもメリットがあるんじゃないかという意見もでございます。</p> <p>その中で、今後その方法等について議論させていただきたいと考えてございます。以上、資料4-3はこれから具体的に許可条件等を、ご審議いただきたいと予告させていただきます。</p> <p>ただ、こういう許可条件等の変更に伴い、もちろん捜査機関であります海上保安庁とも協議する必要も出てくるかと思えます。直ちに委員会指示についても、すぐに発行とはいかないと思えます。</p> <p>具体的に、これまで起こっていたトラブル等を回避するために、アクションを起こさないといけないだろうという事で、検討させていただきたいと思えます。今後のご審議をお願いしたいと考えてございますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>以上です。</p>
<p>今井会長</p>	<p>はい、どうもありがとうございました。</p> <p>それではただいまの説明につきまして、何かご意見、ご質問ございませんでしょうかです。</p> <p>はいどうぞ。</p>
<p>樋口委員</p>	<p>刺し網漁業の網の長さを 400m～600mとか言ってますけど、南部</p>

	<p>に行くとしタ建て網などが行われ、総延長 10 km 近くになるんです。10 km が 500 m となると、長さが全然違います。それは海の底から大体 1 m ~ 2 m あり、それを 10 キロ、15 キロと何ヶ所もやるんです。実績となると、この数字が全然当てはまらない感じです。その辺をどのように考えていますか。</p>
久保補佐	<p>北部のことに報告が偏ってしまい過ぎました。共同漁業権内で入れる場合とか、網の種類は刺し網でも 4 種類あります。今後それぞれで詳細に評価させていただきます。それについては詳細に分けるようにしたいと思っております。</p>
樋口委員	<p>時間も 3 時から 9 時とか書いてますが、刺し網漁業全体についてですか。それを全部含めての 3 時から 9 時。基本的に一般海域で考えているのですか。</p>
奥委員	<p>前に南部海域でバッチ網をしているときに、荒い波と流れの中で揉まれながらも保安庁につけられて、指摘されてたので、なんとか 1 時間延ばしてくれへんかと、船曳でもそんな話も出てきた。冬は暗い中で時間ずらしてほしいと。</p>
今井会長	<p>他にご意見ございませんでしょうか。 よろしいですか。 はい。</p>
各委員	なし
今井会長	<p>他にご質問等ありますか。 ないようですので、水産課の方で、関係者との調整の上、進めていただきますようお願いします。 本日の議事等はこれですべて終了しました。 他に何かご意見や事務局から連絡事項等はございませんか。</p>

<p>事務局 (大道書記長)</p>	<p>次回の開催日については、1月15日(水曜日)、16日(木曜日)、20日(月曜日)～24日(金曜日)のうちの1日で考えています。皆様のご都合はいかがでしょうか。</p> <p>それでは、 1月20日(月曜日)に開催いたしますので、次回もよろしくお願い致します。 事務局からは以上です。</p>
<p>今井会長</p>	<p>ありがとうございます。 これをもちまして、本日の委員会を閉会させていただきます。 本日はお疲れ様でした。</p>